

禁シタル構内ト認定シ談法令ニ照シ衛士長ヲシテ取  
扱ハシメ可然哉以段相伺候也

明治三十三年七月十四日

神宮々司伯爵冷泉為紀

内務大臣候爵西郷從道殿

秘甲第二三〇號

廢娼問題ニ關シ貸座敷營業者等ノ取  
締方ニ就テハ曩ニ訓第七〇二號内訓  
之趣モ有之候處目下主唱者タル基督  
教徒ハ既ニ本年四月以來名古屋市ニ  
於テ矯風會ナルモノヲ組織シ貸座敷  
營業者及藝娼妓ヲシテ正業ニ復セシ  
ムルコト及公娼制度ヲ全廢スルコト  
ヲ以テ目的ト致居其趣意書及畧則ハ  
別紙ノ通ニ有之候趣ニ候元來貸座敷  
營業者ハ居常之ヲ監視シテ娼妓ヲ虐  
待スルノ弊ナカラシメ若シ娼妓ニシ  
テ虐待ニ堪エス其他正當ノ理由ニ依

リ外出ヲ望ムモノアルニ於テハ貸付  
敷營業者ガ之ヲ承諾スルト否トニ拘  
ラズ事情ヲ斟酌シテ相當措置ヲ為シ  
又逃走シタル娼妓ヲ取押ヘタルニ當  
リテモ果シテ娼妓ニ憫諒スヘキ情狀  
ルニ於テハ相當保護ヲ與ヘラルヘキ  
筋合ニ有之然ニ矯風會員ニシテ漫ニ  
娼妓ヲ廓外ニ誘出シ或ハ之ヲ自宅ニ  
引留メ娼妓ヲシテ地方取締規則ニ違  
背セシムルカ如キニ至テハ甚々不當  
ノ行為タルノミナラス貸付數營業者  
等ヲ激昂セシメ其ノ結果意外ノ紛擾  
ヲ惹起スノ恐有之候ニ付篤ト彼等ニ

注意ヲ加ヘ右等行為ヲ十廿ニメ  
様御配慮相成度尤モ外國人モ關係致  
居候儀ニ付取扱方十分御注意相成度  
候然ルニ貸付數營業者カ娼妓ニ對ス  
ル債権擔保トシテ一定ノ期間娼妓ヲ  
抑留スルノ契約ハ法律上無効ナルコ  
トハ本年二月大審院カ上告人坂井フ  
タ對被上告人山田精一娼妓廢業屆書  
調印請求事件ニ於テ下シタル判例ニ  
依ルモ明ナル所ニ有之候間娼妓廢業  
屆ニ貸付數營業者ノ連署ヲ要スルノ  
規定ヲ設ケアル地方ニ於テモ屆書受  
理ニ當リテハ連署ノ有無ニ拘泥セズ



若シ貸陞敷營業者ニ於テ不當ニ連署  
ヲ拒ミタルモノナレハ廢業届ヲ有効  
トシテ取扱ハレ可然且連署ヲ必要ト  
スル規定ハ右ノ精神ニ依リ相當措置  
相成候様致度依命此段及通牒候也  
明治三十三年七月七日

内務總務長官小松原英太郎

○  
詔乙第九二號

憲兵ニ於テ行政執行法第三條ニ依リ  
密賣淫ノ犯行アル者ニ對シ健康診斷  
ヲ為スルハキ者ト認メタルトキハ該官署  
署ニ通報スルハキ旨憲兵司令官へ訓  
令相成候條此段及通牒候也  
明治三十三年七月九日

内務省警務局長安樂兼道